

第4回

令和5年度 **決算報告資料**
(基金説明会)



令和6年10月24日

近畿化粧品企業年金基金

令和5年度 事業状況・決算報告

(令和5年4月～令和6年3月)



加入者に関する事項

令和5年度未加入者数10,022人、平均標準給与月額320,185円となりました。

また、男女加入者の構成割合は、男子が39%・女子61%と女子の割合が高くなっております。

	加入者数	平均年齢	平均標準給与月額
男子	3,953人	42.7歳	407,703円
女子	6,069人	40.1歳	263,182円
合計	10,022人	41.1歳	320,185円



年金・一時金給付に関する事項

年金受給者は5,345人、年金額の累計は8億5,440万円。一時金受給者は507人、一時金額の累計額は1億6,907万円となりました。

■ 新規裁定者

	新規裁定者数	新規裁定者年金額	平均年金額
男子	106人	41,757,800円	393,942円
女子	109人	21,175,800円	194,273円
合計	215人	62,933,600円	292,714円

■ 累計年金受給者

	受給者数	累計年金額	平均年金額
男子	2,636人	591,441,600円	224,371円
女子	2,709人	262,962,600円	97,070円
合計	5,345人	854,404,200円	159,851円

■ 一時金裁定者

	脱退一時金数	選択一時金数	遺族一時金数	総計
男子	116人	4人	1人	121人
女子	376人	7人	3人	386人
合計	492人	11人	4人	507人

	脱退一時金額	選択一時金額	遺族一時金額	総計
男子	80,199,800円	14,298,300円	1,205,700円	95,703,800円
女子	65,967,100円	5,422,900円	1,976,600円	73,366,600円
合計	146,166,900円	19,721,200円	3,182,300円	169,070,400円

● 当基金の事業状況 (令和6年8月末現在)

● 事業所・加入者の状況

	事業所数	76事業所
	加入者数	10,284人 (男子 4,023人 女子 6,261人)

● 平均標準給与月額

	平均額	316,692円 (男子 403,102円 女子 261,169円)
--	-----	---

● 受給者数と年金の支給状況

	年金受給者数合計	5,330人 (男子 2,629人 女子 2,701人)
--	----------	---

	年金額合計	862,449,700円 (男子 598,101,100円 女子 264,348,600円)
--	-------	---

● 一時金の支給状況 (令和6年4月～令和6年8月)

	一時金	163件 / 56,173,700円 (脱退一時金 154件 44,898,000円 選択一時金 6件 5,840,000円 遺族一時金 3件 5,435,700円)
--	-----	---

● 掛金額・納付時期・その他掛金納付の概況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

掛金納付額	納付時期
標準掛金 499,242,638円	毎月末日現在における加入者の標準給与合計額×1.3%
特別掛金 1,068,951,688円	毎月末日現在における加入者の標準給与合計額×2.8%
事務費掛金 38,471,210円	毎月末日現在における加入者の標準給与合計額×0.1%
合計 1,606,665,536円	◎標準掛金、特別掛金、事務費掛金の合計額を毎月、翌月末日までに納付しています。



財政イメージ

年金財政上は令和5年度において13億1千2百万円の剰余が発生しました。この結果、積立剰余（純資産額と将来の特別掛金収入見込みの合計額が数理債務を上回る額）は、48億8千万円となっております。

前年度 令和5年3月31日

(単位：千円)

将来の特別掛金収入見込み 6,019,889	積立剰余 3,568,232
純資産額 17,329,484	数理債務 19,781,141



当年度 令和6年3月31日

(単位：千円)

将来の特別掛金収入見込み 5,093,388	積立剰余 4,880,376
純資産額 19,320,339	数理債務 19,533,351

年金経理

年金給付の支払いやその財源となる資産の積立状況を経理処理する会計です。

損益計算書 (自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
給付費等	1,048,638	掛金等収入	1,569,417
運用報酬等	59,424	特別収入	9
業務委託費等	37,467	運用収益	1,566,956
責任準備金増加額	1,858,670		
当年度剰余金	132,183		
計	3,136,382	計	3,136,382

貸借対照表 (令和6年3月31日現在) (単位：千円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
純資産額 (信託・保険資産)	19,320,337	責任準備金	16,520,283
		別途積立金	2,667,871
		当年度剰余金	132,183
計	19,320,337	計	19,320,337

業務会計

基金の事務局運営に必要な経理処理をする会計です。

当年度剰余金につきましては、これまでの繰越剰余金182,274千円に積増処理を行い、繰越剰余金182,297千円を翌年度へ繰越いたしました。

損益計算書 (自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
事務費	36,485,542	事務費掛金収入	38,539,629
会議費	35,961	定期預金利息等	3,700
代議員会会議費	259,138	雑収入	0
福祉会計への繰入金	935,622		
雑支出	803,561		
当年度剰余金	23,505		
計	38,543,329	計	38,543,329

貸借対照表 (令和6年3月31日現在) (単位：円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
現金・預貯金	190,817,822	引当金	14,982,166
未収事務費掛金等	6,426,424	基本金	3,132,309
未収金	35,821	繰越剰余金	182,274,396
固定資産	3,132,309	当年度剰余金	23,505
計	200,412,376	計	200,412,376

福祉施設会計

弔慰金の給付や基金の広報活動などの福祉事業に要する経理処理をする会計です。

損益計算書 (自令和5年4月1日～至令和6年3月31日)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
事務費	935,622	業務会計からの受入金	935,622
福祉給付金	0		
計	935,622	計	935,622

貸借対照表 (令和6年3月31日現在) (単位：円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	0	基本金	0
基本金	0		
計	0	計	0

令和5年度の財政検証結果

基金では、毎年の財政決算において、加入者や受給権者の受給権（積立金）が確保されているかどうかについて、年金資産の積立状況を検証することになっています。これを「**財政検証**」といいます。

財政検証には、「**継続基準**（基金を継続するうえで、年金資産が計画通り積み立てられているかどうかを検証するもの）」と「**非継続基準**（基金を終了したと仮定した場合、終了時点で加入者・受給権者への給付に見合う年金資産が積み立てられているかどうかを検証するもの）」があります。

それぞれの積立水準が定められた基準値に満たない場合は、掛金見直し要否の判定を行います。

当基金の令和5年度の財政計算では「**継続基準**」は国が定める基準値を満たしています。

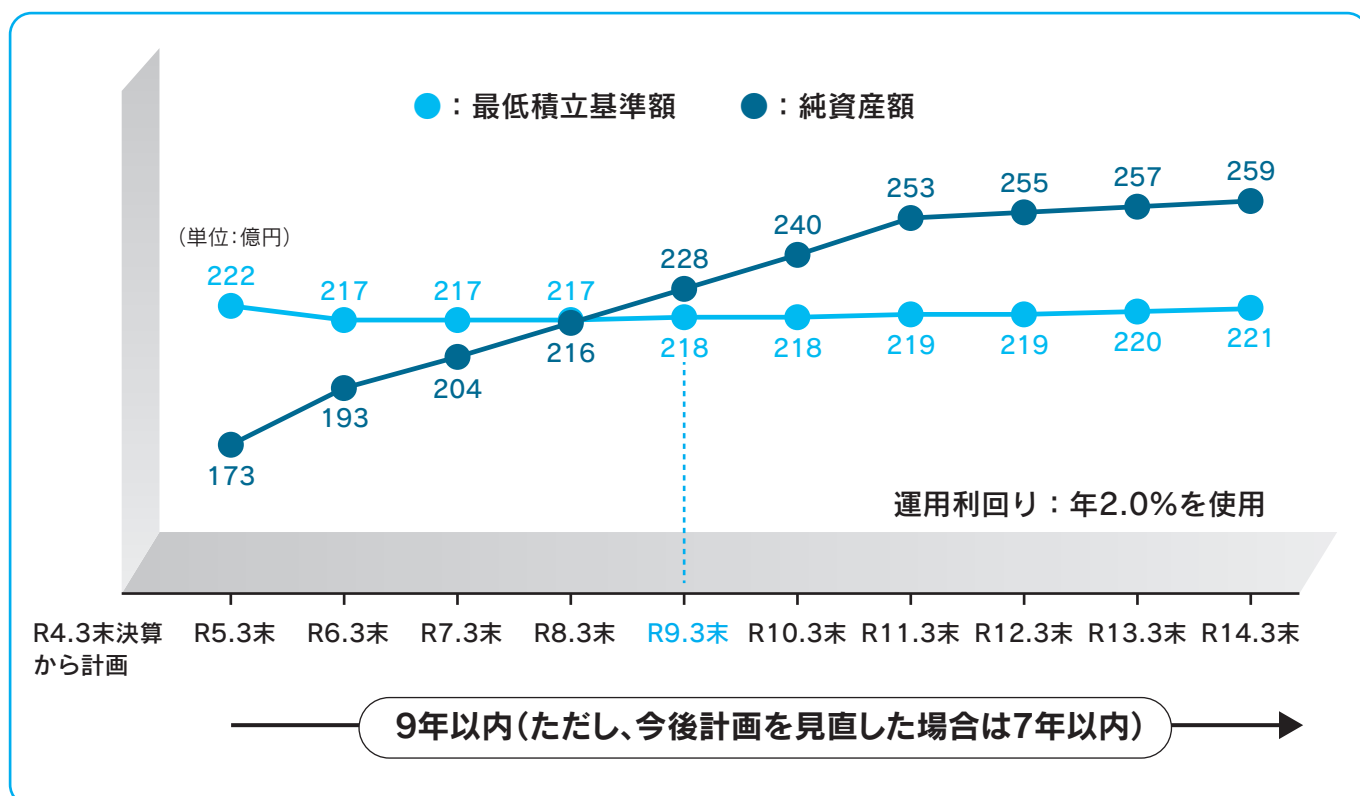
一方、「**非継続基準**」については、基準値（1.00）を下回りますので、回復計画（財政シミュレーション）を作成し、追加の掛金設定は不要であることを確認しました。

	積立水準	基準値	算出方法
継続基準	1.16	1.00以上	193億円（純資産） / 165億円（責任準備金）
非継続基準	0.88	1.00以上	193億円（純資産） / 217億円（最低積立基準額）

回復計画について

純資産額、最低積立基準額の予想額を基に、現在の掛金で回復計画の期間内（令和14年3月末まで）に純資産額が最低積立基準額を上回るかを検証しています。

▶ **令和9年3月末には基準を満たす見込みであり、追加の掛金設定は不要です。**



令和5年度の運用結果

令和5年度の投資環境

令和5年度の株式市場については、欧米のインフレが落ち着きを示したことや、堅調な米国景気を背景に上昇基調となり、日経平均株価は、年度末に初の4万円台をつけました。一方、米国の利下げ時期の先送りや日銀の金融正常化への姿勢から金利は高止まりし、債権市場は、軟調な推移となりました。また、為替の円安により、外貨建て資産については、プラスの影響を受けました。

この結果、8.7%の運用収益となりました。

資産別の運用実績

区 分	実 績				政策 アセットミックス	乖離幅
	時価資産額 (円)	資産配分	総合収益 (円)	修正総合利回り		
国内債券	1,342,098,582	7.0%	▲ 15,531,080	▲1.2%	4%	3.0%
国内株式	1,841,508,970	9.5%	561,424,981	40.3%	8%	1.5%
外貨建債券	4,750,123,464	24.6%	109,213,874	2.4%	28%	▲3.4%
外貨建株式	2,467,835,112	12.8%	795,391,916	39.5%	10%	2.8%
オルタナティブ	3,413,718,109	17.7%	55,978,973	1.6%	20%	▲2.3%
生保一般勘定	4,681,008,474	24.3%	40,494,610	0.9%	30%	▲5.7%
その他	798,688,596	4.1%	86,768	0.0%	0%	4.1%
合 計	19,294,981,307	100.0%	1,547,060,042	8.7%		

運用機関別の運用実績

区 分	時価資産額 (円)	資産配分	総合収益 (円)	修正総合利回り
りそな銀行	8,809,141,284	45.7%	1,493,164,870	19.1%
三菱UFJ信託銀行	1,432,977,836	7.4%	▲ 238,017	0.0%
三井住友信託銀行	408,898,401	2.1%	13,192,391	3.3%
SOMPOアセットマネジメント	1,208,760,530	6.3%	▲ 19,485,855	▲1.6%
三菱UFJオルタナティブインベストメンツ	538,995,709	2.8%	▲ 13,233,294	▲2.4%
ニッセイアセットマネジメント	1,026,715,425	5.3%	22,688,431	3.8%
日本生命	2,855,047,941	14.8%	12,957,091	0.5%
明治安田生命	2,911,720,649	15.1%	35,290,893	1.2%
住友生命	102,723,532	0.5%	2,723,532	3.5%
合 計	19,294,981,307	100.0%	1,547,060,042	8.7%

令和6年度の運用状況について

令和6年度の資産運用は、7月半ばまで堅調な株式市場を背景として、順調に収益を積み上げていました。しかしながら、日銀による政策金利の引き上げをきっかけに大幅な円高が進行し、8月5日には日経平均株価が急落しました（過去最大の4,400円）。その後、市場はやや落ち着きを取り戻していますが、景気後退懸念や米国大統領選挙など不透明要因が払拭されていません。そのような市場環境の中、株式・債券・オルタナティブと様々な運用商品に分散することで、8月末現在0.63%のプラス収益を維持しております。

引き続き安定的な運用を心がけ、リスク管理を徹底して参ります。

資産別の運用実績（令和6年8月末現在）

区 分	実 績				
	時価資産額 (円)	資産配分	期中平均残高(円)①※1	総合収益(円)②※2	修正総合利回り②/①
国内債券	1,129,215,421	5.8%	1,063,941,302	▲ 11,397,088	▲1.1%
国内株式	1,608,562,997	8.2%	1,769,298,657	▲ 32,952,878	▲1.9%
外貨建債券	5,074,054,620	25.9%	4,972,479,727	25,889,123	0.5%
外貨建株式	2,153,002,168	11.0%	2,368,202,939	85,107,315	3.6%
オルタナティブ	3,632,423,681	18.5%	3,637,800,074	41,420,808	1.1%
生保一般勘定	5,208,091,630	26.6%	5,360,510,624	16,595,613	0.3%
その他	787,713,452	4.0%	478,188,186	1,168	0.0%
合 計	19,593,063,969	100.0%	19,650,421,509	124,664,061	0.6%

※1 元本平均残高+前期末未収収益+前期末評価損益

※2 当期実現損益+当期末未収収益増減額+当期評価損益増減額

転職により入社される方の転職元の企業年金等の受け入れについて (令和6年10月1日より)

転職により入社される方が転職元で企業年金等にご加入されている場合、ご本人の希望により、令和6年10月1日から転職元の脱退一時金相当額を当基金で受け入れができるように制度の見直しを行いました。この見直しにより、受け入れを行った場合、当基金の年金制度と合算して受給できるしくみとなり、転職で加入者となられる方にとって有益な制度となりました。

転職採用される場合、事業所様の福利厚生制度としてアピールできる内容となりますので積極的にご活用ください。

受け入れのイメージ

前職の企業年金制度等	申出期限
確定給付企業年金 (DB)	前職を退職後1年以内
企業型確定拠出年金 (企業型DC)	前職を退職後6カ月以内
個人型確定拠出年金 (iDeCo)	前職を退職後6カ月以内
企業年金連合会	当基金の加入資格取得後3カ月以内

ご本人の希望

近畿化粧品基金にて受け入れ

- ☑ 前職の企業年金制度からの脱退一時金相当額の受け取りを保留にしている方
 - ☑ 当基金にご加入後、退職時には前職の年金制度より受け入れた金額と当基金ご加入後の加入期間に応じた給付を合算して支給します。
 - ☑ 受け入れが可能な方は、ご加入いただく際の年齢が満62歳未満の方となります。
- ▶ その他詳細の条件等ご不明な場合は当基金にお尋ねください。

お手続きについて

当基金への受け入れをご希望される加入者の方がいらっしゃいましたら、基金事務局にご連絡をお願いします。前職の制度に応じた所定の用紙をお送りさせていただきますので、加入者ご本人に所定の箇所をご記入いただいた上で、転職元の企業年金等へお送りくださいますようお願い申し上げます。

当基金へ受け入れをご希望された加入者様の給付について

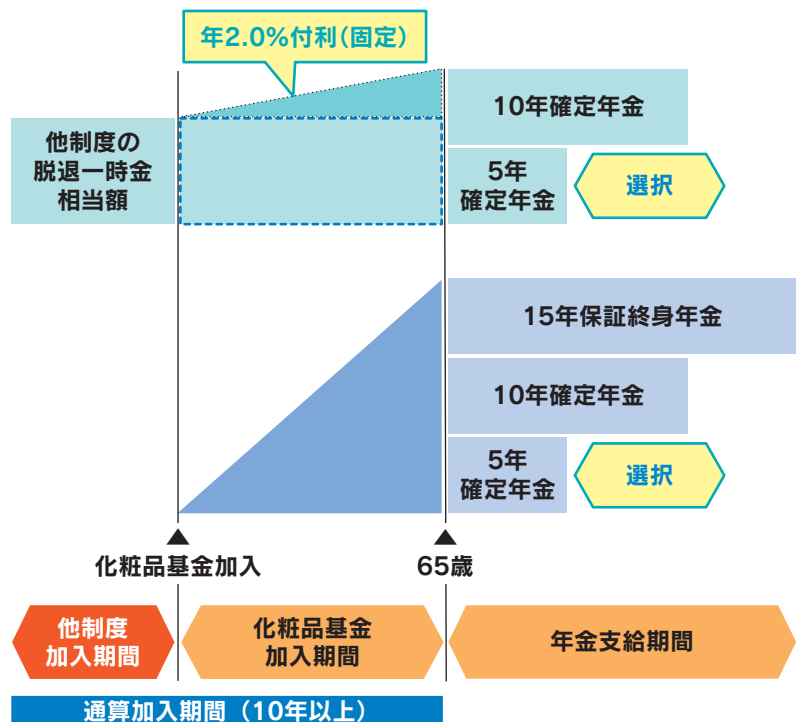
通算加入期間3年以上10年未満でご退職

- 他制度から受け入れた脱退一時金相当額は、年2.0% (固定) 付利します。
- 一時金裁定時は、当基金の本則給付と他制度から受け入れた脱退一時金相当額 (付利後) を合算で支給します。

通算加入期間10年以上でご退職

- 他制度から受け入れた脱退一時金相当額は、年2.0% (固定) 付利します。
- 通算加入期間が10年以上で、老齢給付金 (年金) として、65歳到達時から支給可能です。
- 年金裁定時は、当基金の本則給付と他制度から受け入れた脱退一時金相当額 (付利後) との併せ給付となります。ただし、他制度から受け入れた脱退一時金相当額 (付利後) についての支給期間は、5年10年の有期年金の分割給付のみです。15年保証終身年金の選択はできません。

年金を選択した場合のイメージ図【化粧品基金加入後】



※通算加入期間とは…他制度から受け入れた脱退一時金相当額の算定基礎となった加入期間+化粧品基金に加入された期間を指します。

基金 Q & A

Q1 給付のしくみはどうなっていますか？

A1 ■給付のしくみ

支給要件	老齢給付金	・10年以上
	脱退一時金	・3年以上 10年未満
	遺族一時金	・(加入者) 3年以上 ・(受給権者) 保証期間内の死亡
年金支給期間	[選択制] ・有期年金(5年、10年) ・終身年金(15年保証)	
支給開始年齢	・65歳 ・ただし、新制度発足時の加入者については現行厚生年金と同様	

3年以上の加入期間があれば一時金として、10年以上の加入期間があれば一時金または年金としてお受け取りいただくことが可能です。また、ご退職時に一時金でお受け取りいただく以外にも、企業年金連合会へ移換して将来年金でお受け取りいただくことや、転職先の企業年金制度または個人型確定拠出年金(iDeCo)への移換も可能です。他にも加入者ご本人がお亡くなりになられた場合、遺族の方へ一時金としてお支払いさせていただきます。

Q2 一時金・年金でいくらくらいもらえますか？

A2 モデル給付額は、以下のとおりです。

22歳加入標準報酬月額平均30万円とした場合のモデル給付額(65歳支給開始額)

資格喪失年齢	加入期間	一時金額	年金年額		
			終身年金	有期年金 (5年確定年金)	有期年金 (10年確定年金)
30歳	8年	208千円			
40歳	18年	603千円	76千円	291千円	153千円
50歳	28年	1,144千円	119千円	453千円	238千円
60歳	38年	1,893千円	161千円	615千円	323千円
65歳	43年	2,365千円	183千円	696千円	365千円

※掛金は事業主に全額ご負担いただいております。

Q3 給付の手続きはどうしたらよいですか？

A3 ご退職の方へ当基金から一時金または年金裁定に必要な書類をお送りさせていただきます。将来年金で受け取られることを選択いただいた場合、年金支給開始前にあらためまして、必要書類をお送りさせていただきます。住所変更の場合、当基金へのお手続きを失念されないようご注意ください。一時金のお支払いは、当基金宛書類到着からおよそ1ヶ月以内に、ご指定いただいたご本人の預金口座へ送金させていただきます。各種請求手続きが遅れますと、お支払いができなくなる可能性もございますので、早期のお手続きへのご協力をお願いいたします。

ホームページをご利用ください！

加入者・受給者の皆様に基金制度や運営状況をより一層ご理解いただくため、また、各事業所様の基金事務にお役立ていただくため、当基金のホームページをぜひご利用ください。



近畿化粧品企業年金基金

検索



アドレス

<http://www.kinkikesyohin-kikin.or.jp>

QRコードを読み込むことで
近畿化粧品企業年金基金のホームページへアクセスできます。



主な
コンテンツ

- 代行型制度対象の方
- 加入者の方へ
- 受給者の方へ
- 設立事業所・加入者・受給者・各種届出

右記のページでは
IDとパスワードが
必要です

- 基金の財政※
- 当基金の制度改正のお知らせ
- 資産運用
- 基金だより

ID

kikin

パスワード

kikin0778

※代行返上にともない平成28年度は計上していません